

婦人科疾患に対するロボット手術および従来の腹腔鏡手術の有用性についての検討

1. 研究の対象となる方

- ① 2018年4月1日～2025年12月31日の間に山梨県立中央病院婦人科にてロボット支援下手術を受けた患者
- ② 2013年4月1日～2025年12月31日の間に山梨県立中央病院婦人科にて従来の腹腔鏡手術を受けた患者

2. 研究目的・方法

本研究は婦人科領域におけるロボット手術の安全性や有効性について検証することを目的とします。従来の腹腔鏡手術に比べて、ロボット手術のどのような点が優れていてどのような点が劣っているのかを明確にすることは、手術方法の選択の一助となります。具体的には、患者さんそれぞれの臨床背景に応じたロボット手術と従来の腹腔鏡手術のそれぞれの有用性を検討していきます。研究方法としては患者さんの診療録の情報を後方視的に検討します。

研究実施期間：研究機関の長の許可日 ～ 2025年12月31日まで

3. 研究に用いる情報の種類

病歴、患者背景、周術期予後情報等を診療録より取得します。

尚、取得した情報は匿名化した上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命 科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報 を 厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書 及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代諾人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。申し出をいただいた時点で、既に学会や論文として発表されている場合は取り消しができないこともあります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：山梨県立中央病院 婦人科 野崎 敬博

〒400-8506 山梨県甲府市富士見一丁目 1 番 1 号 TEL：055-253-7111（代表）